

「横浜国立大学工学部造船工学科 1975 年（昭和 50 年）2018 年クラス会

実施日；2018. 11. 24(土)

このクラス会は 1993 年頃から毎年 11 月の最終土曜日を目安に開催しています。今年は最若手も 65 歳を越えて全員がシニア世代に入りました。

今回は、まず、有志 8 名が 14:50 JR 桜木町駅 南改札出口に集合しミニツアーを実施しました。

15:00 発の横浜市営バスの「赤い靴号」に乗り横浜港周辺を巡回しながら、最初に

「港の見える丘公園前」で降りて港の見える丘公園を散策、15:55「港の見える丘公園前」を出発し、また「赤い靴号」で 16:08「大栈橋客船ターミナル」到着、20分ほど散策後、大栈橋から約20分ぶらぶら歩いて 16:45 に中華街翡翠楼新館到着、17:00 からクラス会が出席者 21 名で開催されました。特に今年は仕事から離れる者が増えてきたせいで趣味（栽培している野菜を直売所に卸している/テニス、スキー、旅行を楽しむ/陶芸をやっている/国大でテニスの指導をしている等々）や家族の話が中心の近況報告をして会は盛り上がりました。



一方、JMU の方々の様に石川島播磨/NKK/日立造船と別々の会社に入社された方たちが今、同じ会社の同じフロアで仕事をされていること。また、NKKで入社したのに現IHIで働いている人もいました。

一次会終了後、遠方の人やすでに他の 2 次会までこなしてきた人が帰った後、総勢 15 名で中華街のカラオケの鉄人で恒例の「あこがれのハワイ航路」を皮切りに桑田を始め湘南サウンドと同世代の歌を 2 順から 3 順して 22:30 には来年の再会を期して帰路につきました。

